Ver.2.1　　令和5年6月7日

普通科　総合探究　3年間の指導計画（令和５年度）

1年次

令和	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施時数	1 2 3 4	5 6 7	7 8 9 10	11 12 13 4H	18 19	20 21 22 23	24 25 26 27	28 29 30	31 32 33 4h	38 39 40	41 42	43 44
２４展開	担任・副担任						→					
個人orグループ	全体	グループ	個人	個人	グループ		グループ					
実施内容	植松電機ロケット実習	自分史・他己紹介スピーチ	ENAGEED Vol.1	身近な地域の魅力課題再発見	地域創生プランの立案		地域創生プランの立案			地域に学ぶ課題研究		
活動内容詳細	・植松電機を訪問してのモデルロケット実習	・行動や努力が実を結んだ出来事やそのときの感情をまとめ、自己分析を行う。 ・作成した「自分史」を交換し合い、受け取った相手の長所を読み取り、他の生徒に紹介する。	・小さな疑問やアイディアが文明を作ってきたことを踏まえ、地域の課題をみつけ、理想状態に近づけるために必要な事柄を考える	・課題の原因分析する。 ・ブレスト ・マンダラート ・ボックスアロー	・住み慣れた地域の課題や魅力を見つめ直し、魅力を課題解決につなげる方法を考える ・自治体の発表する統計データなどを分析し、地域の課題を「客観的な数値」に基づいて捉える		・取り組む自治体ごとに班を編制し、地域創生プランを立案する。 ・個人の調査で得た知識を共有し、さらに必要な情報を特定して追加調査を実施する。 ・高校生らしい独創性な案でありながら、数値的な分析に基づくプランを期待する。	・発表準備 ・スライド作成		・研究に取り組む課題の決定 ・同じ課題を選んだ者同士による班を編成 ・前年度の総合探究の発表資料や文献による調査で、課題の現状について深く分析する。	
伸ばしたい具体的な力	・科学や社会に対する興味	・自己肯定感 ・伝える文章を書く力 ・伝える話し方	・課題を見つける力 ・具体的な理想を描く力 ・発想力	・因果関係を見つける思考力	・住み慣れた地域の課題や魅力を自分事として捉える力 ・データを分析する力			・見やすいスライド制作力 ・伝わる話し方				

課題研究発表会　見学　課題研究発表会　プレゼン発表

言語を活用する力
知識、情報を活用する力
課題を見出す力
課題を解決する力
議論する力
他者と協働する力
自らを振り返り変容させる力
挑戦する力

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施時数	1 2 3	4 5 6	7 8 9 10	11 12 13 14 15	16 17	18 19 20 21	22 23 24	25 26 27 28	29 30 31 32	33 34 35 36	37 38	
２４展開	担任副担任	→					→					
個人orグループ	個人	グループ					グループ					
実施内容	SDGｓ学習	地域に学ぶ課題研究			地域に学ぶ課題研究					個人課題研究・卒業研究		
活動内容詳細	・SDGｓ１６９のターゲットから１つを選び、文献やインターネットによる調査活動を実施 ・ポスターを作製する。課題研究発表会で展示	課題研究班編成 ・研究の題材として６つの「カテゴリ」を設定する。 ・生徒は希望のカテゴリの中でグループを編成し、自由な視点から、問題解決や地域の発展を目指す実効性のある提案を目標とした研究を行う。自然科学の場合は、研究を行う。 ・研究活動では、「社会の中で学ぶ」「学校で得た知識を、社会の中で生かす」ことを重視する。		来校者案内　見学	・夏期休業中に滝川市役所や企業を訪問するなどして、課題の詳細を把握する。 ・他の自治体の先行研究を調査し、滝川で期待される効果について分析する。 ・校外での実施調査を行う。		中間発表	・追加研究 ・スライド作製		プレゼン発表	・課題研究発表会での指摘などをもとに研究成果をまとめる。 ・可能であれば！　市役所を訪問しプレゼンテーションを実施する ・総合探究Ⅲのテーマを決定する。研究を開始する。	
伸ばしたい具体的な力	・SDGｓについての正しい知識 ・信頼のおける情報を選び出す力 ・集めた情報をまとめ、その際に出典を記載する等のルールを認識する	・身の回りの興味ある事柄について、更に深く知りたいこと、試したいことを見つけ出す力 ・自分の興味のある事柄の面白さを他人に伝える力 ・他人が興味を持った事柄に対して、自らも興味の対象を見出す力			・研究を開始するために必要な情報（現状・先行研究等）を収集する力 ・明らかに（提案）したい事柄について更に知るために必要な活動について整理する力 ・計画に沿って、取材などの研究活動を実行する力 ・新たに得られた情報をもとに、更に知りたい事柄を見つけ出す力					・授業で学んだ知識・技能や思考力判断力などを、自信が興味を持った社会問題の分析や解決生かすか。		

言語を活用する力
知識、情報を活用する力
課題を見出す力
課題を解決する力
議論する力
他者と協働する力
自らを振り返り変容させる力
挑戦する力

3年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実施時数	1 3 5 7 / 2 4 6 8	9 11 13 15 / 10 12 14 16	17 19 21 23 / 18 20 22 24	25 27 29 31 33 / 26 28 30 32 34	35	
２４展開	→					
個人orグループ	週1時間は担任・副担任					
実施内容	個人課題研究・卒業研究					
活動内容詳細	・2年次での課題研究の成果と経験を踏まえ、各自の進路希望に沿った視点を加え課題解決を目指す課題研究 ・各自の必要に応じて、取材やアンケート調査などを実施し、成果をポスターにまとめる。				プレゼン発表　まとめ	
伸ばしたい具体的な力	・各自の進路希望と、これまでの課題研究での学びを総合し、興味のある課題について独自の視点から見つめ、研究を行う力 ・テーマ設定、研究計画の立案、研究活動、発表までの過程を、指導を受けながら自分自身で完遂する力					

言語を活用する力
知識、情報を活用する力
課題を見出す力
課題を解決する力
議論する力
他者と協働する力
自らを振り返り変容させる力
挑戦する力

昨年度からの変更点

【全体】
１．２８展開を２４展開に変更。班を担当しない運営者や、指導担当者不在の際に指導に当たる教員を確保する。
２．冬の課題研究発表会を、２月から１２月末に変更。市役所の予算編成時期、私立大学の入試時期を避ける。

【総合探究Ⅰ】
１．５月の実施内容を、「自己紹介」から、「自分史作成」と「他己紹介」に変更
元ネタは、大手事務所のオーディション。自分史は、年表を書くのではなく、困難を乗り越えたエピソードや日常大切にしていることなど、自分の特性が表れるような出来事と、「その時どんな気持・決意で取り組んだか」について記載する。
「他己紹介」では、他人の自分史から、その人の持ち味や巣切れテイルところを見つけ出し、誇張してもかまわないので褒め倒す。聞き手も場を盛り上げる。
２．６月の実施内容を「新聞記事トーク」から「ENAGEEDの提供する探究教材」に変更する。自分の考える社会の理想状態と現状を比較し、それらを結ぶ方法について考える。

【総合探究Ⅱ】
１．SDGｓ学習の期間を「４，５月」から「４月」に変更。昨年は休校があったため。また、BYODが導入されたことにより、パソコン室の割り当てが不要となり、自宅での作業能となったため。
２．24班を編制し、4班ずつ６つの教室で実施。同じ教室に居る4班は同じ課題を題材とするが、それぞれの自由なアプローチで研究を行う。たとえば、「滝川市のゴミ処理予算を減らす」という課題について、「ゴミ袋の適正料金」「絶対分別したくなるゴミ箱の開発」「分別項目の最適化」など様々なアプローチで研究する。教室ごとに中間発表を実施したり、調査した情報を共有するなど、交流による深化をはかる。

【総合探究Ⅲ】
１．研究課題の設定の際には、進路希望との関連や、研究としての発展が期待できるかどうかを十分に考慮するよう指導する。